

一 般 質 問 通 告 書

令和6年第2回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	南 有 隆	1 令和時代の学校教育について	(1) デジタル化が進む学校教育においてテストで測定する認知能力だけでなくテストで測定できない非認知能力を育てる必要があると思います。また、デジタル化により余計に教職員の仕事が増えていると感じますが考えを伺います。 (2) 島の子供達が実社会の現実を乗り越えていくには、生きぬく力の育成が必要だと思うが考えを伺います。	教 育 長 教 育 長
		2 観光による経済効果と観光客誘致について	(1) 毎年数万人の観光客が来島しているが、与論町の経済にどの程度効果を生み出しているのか。また、シーズンに向けてどの様に観光客誘致をするのか伺います。	町 長
2	喜 山 康 三	1 観光産業発展への取り組みについて	(1) リーフと海、海浜とその背後地など稀有な景観と自然に恵まれたお陰で本町観光産業は奇跡的な発展を遂げてきました。この遺産を守る事が定住人口減少の歯止めとなり本町発展の大切な要と思っている。この大切な自然をどの様に保全するつもりか、見解を伺いたい。	町 長
			(2) 町民全員が観光客の来島を心から歓迎し、観光関連事業に何らかの形で携わり恩恵を受けた事が、観光産業が長期に渡り飛躍的に発展した要因と思っている。島人が海遊びをエスコートし、観光客と一緒に飲み、唄い、踊り、繋がり、エンターテイナーとしておもてなしをしたお陰と思っている。このおもてなしの心を、島人が次世代へ受け継ぐために、何をすべきか、町長の見解を伺いたい。	町 長
			(3) 十五夜踊りをはじめサンシンで与論小唄や沖縄民謡を奏で、謡い、方言を教えるなど与論の歴史と文化に触れることも観光には大切なもの考える。与論町の文化、歴史の掘り起こしと保存をどの様に進めるつもりか、見解を伺いたい。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年第2回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		2 事業計画段階から住民とのコンセンサスと慎重な予備調査を行っているか	(1) 給食センター建設がとん挫している。その理由と問題点は何か、見解を伺いたい。 (2) 茶花漁港に計画されている防砂流入壁建設が建設された場合、台風時など高潮発生時には漁協施設及び付近商業住宅への越波が懸念される、見解を伺いたい。	教 育 長 町 長
		3 自治公民館活動の在り方について	(1) 自治公民館活動において高齢者向けサービス充実を図るよう連携事業等検討できないか、町長の見解を伺いたい。	町 長
3	林 敏 治	1 子育て支援の整備について	(1) 本町における少子化、子育て支援に関する施策の検討及び推進を担う「こども未来推進室」や、子どもが安心して過ごせる居場所づくりとして「子ども第三の居場所」等の整備、妊産婦、子育て世帯が、気軽に相談できる「子ども家庭センター」の設置などについて今後どのように推進していく考えか。	町 長
		2 福祉環境の充実について	(1) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な事業の実施やすべての地域住民を対象とする包括的支援体制の整備を行っていく重層的支援整備事業について、どのように取り組んでいく考えか。	町 長
		3 県営畑地総合整備事業第3那間地区について	(1) 令和6年度県営畑地総合整備事業第3那間地区について今年度実施設計を行い、令和8年度から工事着手を計画しているが、地権者及び耕作者のニーズに応えられるよう整備をしていく必要があると考えるが、今後どのように推進していく考えか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年第 2 回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
4	吉 田 剛	1 週報(くみちぎ)の在り方について	(1) 広報よろんをはじめ、議会だよりや月 2 回の週報を、いつでもどこでもより身近にというところから令和 3 年度発行分より、アプリをダウンロードすることによりスマートフォンやタブレットから閲覧可能となっているが、未だに紙媒体での戸別配布も行っている。その事によるご近所トラブルや「時代にそぐわない方法である」、「経費削減が必要では」などの声が上がっていますが、今後どのようにしていく考えか伺いたい。	町 長
		2 修学旅行におけるスマートフォンやカメラの所持禁止について	(1) 修学旅行時は、生徒のスマートフォンやカメラの所持が禁止されているが、これは、旅行中に動画や写真を SNS に投稿することにより、投稿者本人が予見しなかった誹謗中傷に会う危険や、その後のいじめにつながる様な事態を発生させないための学校側の配慮とは思いますが、禁止にするのではなく、SNS 等、現代社会とどの様に暮らしていくかという点が教育として大事だと考える。トラブルを未然に防ぐことも大事ではあるが、その点においてどの様なお考えか伺いたい。	教 育 長
5	林 隆 壽	1 移住者への住宅環境整備について	(1) 現在、与論町に住所を有する移住者がシェアハウス等、簡易宿泊施設での生活を余儀なくされている現状にあるが、このような方々が、公営住宅等への入居が大変困難な状況である現状をどのように認識し、どのように対策を講じているか伺います。	町 長
		2 観光関連施設の整備について	(1) 今、与論島には、若者だけでなく、老若男女様々な方々が来島されている。観光各所に整備されているトイレはほとんどが和式であるが、高齢者及び、身体的に不自由な方々が利用しやすい洋式に変えて、持続可能な観光の島を構築すべきであると考えます。また、各所に使用不能な施設が存在するが、このことをどのように認識し、どのように対策を講じていくのか、伺います。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年第2回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
6	大 田 英 勝	1 町営住宅改修時の引っ越し費用の助成について	(1) 近年順次に町営住宅の改修が行われ、快適で住みよい住宅に生まれ変わっていることは、誠に喜ばしいことである。しかしながら、入居者は一時退去時と再入居時に、二度の引っ越しを余儀なくされており、入居者にとってそれが負担になっていると聞く。そこで、引っ越しの際町としてどのような便宜を図っているのか。また、今後引っ越しの際何らかの助成をする考えはないのか伺いたい。	町 長
		2 町民憲章前文の「美しい」文言について	(1) 令和4年6月定例会において、町民憲章前文の「美しい」の文言は、町民憲章制定時の原点に立ち戻り、入れないことに決まった。ところが、未だに「美しい」の文言が入った町民憲章が散見される。町は決定後、このことを町民にどのように伝えたのか。ダブルスタンダードにならないよう、今後周知の徹底を図る必要があると思うが、具体的にどう取り組んで行くのか伺いたい。	町 長
7	福 地 元 一 郎	1 共同墓地(納骨堂)について	(1) 昨年9月定例会で共同墓地(納骨堂)建設を継続して進めていく考えかとの質問に、町長は早期整備に向けて取り組んでいくと答弁された。また、当時の担当課長も供用開始は令和8年度を目標に考えていると答弁されたが、現在の進捗状況はどうなっているのか伺います。	町 長
		2 D X推進について	(1) D X推進の一環として、議会にタブレット端末を導入して紙資源の無駄を省くと同時に、今後急速に進んでいく生成A Iの活用も見据えた取り組みを行う必要があると痛感するが、町長はどう進める方針であるか伺います。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年第2回定例会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		3 アオサンゴの群生について	(1) 去る5月24日の南海日日新聞に、与論島供利港沖で世界的にも希少なアオサンゴの群生が発見されたとあった。アオサンゴは太平洋、インド洋に広く分布し、日本の生息北限は屋久島で奄美群島の他地域でも生息が確認されていて、群体は褐色だが、骨格が青いのが特徴で国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されているとのことである。 そこで、本町として詳細に調査をして、学術的に保護するとともに、観光資源として活かせるのか早急に検討する必要があると痛感するが、町長はどう進める方針であるか伺います。	町 長